



こんなとき、どうする？

①こどもの急病： けいれん

発行：あおぞら生協クリニック

☆けいれんが起きたら

けいれん発作を見ると驚きますが、あわてず落ち着いて対応するよう心がけましょう。

けいれん時の対応

【発作時】

- 顔を横に向けにして、衣類をゆるめましょう
- まず時間を見て、けいれんの続いた時間と、何をしていたけいれんしたかメモしましょう
- 目の向き、体の硬さ、ピクつきに左右差がないか確かめましょう
- 体温を繰り返し測り、経過をメモしましょう
- 吐き気があれば、むせないように体を横に向けましょう
- 吐物やよだれはすぐ拭き取りましょう
- あわてて口の中に指や箸を入れたり、大声で呼びかけたり、体をゆすったりしないようにしましょう

【発作後】

- ぐったりして目を閉じていたら、呼びかけや傷み刺激で目を覚ますか、嫌がる反応があるか見ましょう
- 薄暗くした静かな部屋で休ませましょう
- 意識が回復するまで、必ず付き添いましょう
- 発作後は、普段と変わりがないか観察しましょう



観察ポイント

- ①「いつから」、「どんなけいれんか」、「何分間続いたか」
- ②けいれんが左半身、右半身だけのようないずれの左右差がないか
- ③その時の「体温」は何度か

けいれんの時のフローチャート

けいれん



- ①けいれんが5分以上続く
- ②けいれんが止まっても意識がはっきりしない
(目が合わない、おうちのひとがわからない)
- ③くちびるの色が紫色で呼吸が浅い



救急車を呼ぶ!

- ①はじめてのけいれん
- ②生後6ヶ月以下
- ③6歳以上
- ④けいれん時体温が38℃以下だった
- ⑤けいれんに左右差がある
- ⑥嘔吐、失禁をともなう
- ⑦頭を打った
- ⑧何度も繰り返し、けいれんが起こる

1つでも「ハイ」がある



救急医療機関を受診!

1つも「ハイ」がない



翌日の朝、
かかりつけ医へ

時間とともに具合が悪くなら、
診療時間外なら救急医療機関を受診

急病時の問い合わせ先

◎尼崎医療センター 休日夜間診療所

(☎06-6436-8701)

診療時間 平日(月~金) 21:00~23:30

土曜日 16:00~23:30

日曜/祝日 年末年始(12/29~1/3)

9:00~23:30

◎阪神尼崎北広域こども急病センター

(☎072-770-9988)

受付時間 平日(月~金) 19:30~翌朝 6:30

土曜日 14:30~翌朝 6:30

日曜/祝日 年末年始(12/29~1/3)

8:30~翌朝 6:30



◎あまがさき小児救急相談ダイヤル

(☎06-6436-9900) 毎日 0:00~翌朝 6:00